

今年度の笹山遺跡をめぐる動き

十日町市教育委員会文化財課 水 落 辰 美

市指定の史跡であります「笹山遺跡」を中心としてその保護と活用を目的とした「火焰の都整備事業」は、合併特別債を主な財源として、平成19年度から開始しております。

この4月1日から「市民スポーツハウス」の所管を文化財課に変更し、名称も「十日町市笹山縄文館」としました。

今年度は、この笹山縄文館の維持管理を、遺跡広場、竪穴式住居を含めて、NPO笹山縄文の里の皆様にお願ひし、地域振興及び火焰の都整備の拠点として活用していただきたいと思います。そのために、遺跡広場整備を含め、施設設備を充実させる予算も、つきました。

また、昨年度、地元の皆様から多大なお骨折りをいただきました竪穴式住居ですが、縄文の遺跡広場としての形態

を整えるため、今年度さらに、一棟増設していただくよう準備をすすめております。これらが、地元の皆様はもとより、遺跡を訪れる方々にとって、有意義なものとなることを願っています。

また、あらたに今年度からは、学術調査発掘の準備に入ります。そのためには、まず用地の確保が最重要課題となっておりまいますので、皆様方のさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

最後に笹山じょうもん市が、震災で被災された方々への励ましと復興への祈りを込めて力強く開催されますことも含めて、笹山遺跡の今日的役割の意義をしっかりと見つめていच्छる地元の皆様に深く敬意を表します。

地域復興支援事業を終えて

振興会理事 野 沢 恒 雄

平成20年度より3カ年にわたり中越大震災復興基金を活用した中条のまちづくり事業が行われました。誰もが集い中条の夢を語り合い、縄文のようなでっかいすまきを作って未来に向かう場「中条うすまこーて快議」がその中で誕生し、たくさんの活動と「中条未来辞典」や「中条宝ものマップ」「下町笹屋跡地中条案内板」などの成果品が生み出されました。何といっても人のつながりがいっぱいできたことが宝ものです。

笹山竪穴住居の活用について

昨年秋に中条地域の皆さんの力により、笹山広場にすばらしい竪穴住居が完成しました。現在、維持管理のためにいぶし作業などを行っていますが、今後どなたでもご利用できるよう準備を進めておりますので楽しみにお待ちください。

退任挨拶

前振興会長 須 藤 誠 也

国難とも表現される、東日本大震災で日々懸命に頑張っている関係者に深い敬意を表します。

さて私は年度末で振興会の役員改選により会長職を退任しました。任期中は、役員の皆様各位に多大なるご協力とご理解を頂き目的を遂行できました事は有難く感謝いたします。

伝統ある中条振興会での年間行事は近年、益々多忙を極めま

す。結構忙しい日々でありました。去るにあたり今後共会長の定年制を守るべくお願いしましたところ、立派な後任者が選出されて安堵して居ります。小生を育ててくれた中条地域に些かな恩返しが出来たのかなと自負し、長い間を支えて頂いた関係者に深く感謝して、中条の未来がより輝く時代になる様に祈念致しまして退任のご挨拶とします。有難うございました。



中条地区振興会

今後の主な予定

- 6 / 5(日) じょうもん市
- 7 / 17(日) 校区民体育祭
- 7 / 23・24・25
やまて中条夏交流
- 7 / 31(日) 林道整備作業
- 10 / 1・2 ふれ愛中条公民館まつり

編集後記

東日本大震災、及び長野県北部地震において被害に遭われた皆様におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。私たちの住むこの中条にも、遠く他県より避難してこられた方がいらっしゃるという聞いております。計り知れないような大変な思いをされてきた事でしょう。重ねてお見舞い申し上げます。

大地震と、あわせて発生した原子力発電所の事故等により、日本人はいろいろな面で考え方や生活を見直さなければならない時が来たようです。この「振興会だより なかじょう」も例外ではなく今回から少し様変わりをいたしました。青少年育成協議会のページを加え、様々な活動報告等を皆様にお伝えしていくことになりました。発行が年3回なのでまとめてお伝えするようなことにもなりそうですが、振興会の活動と合せて青少協の活動にもご注目いただきますようお願い申し上げます。